

<ツーソンへの誘い>



ツーソンにある光学で有名なアリゾナ大学（同校 Web から）

<Arizona Photonics Days 2020>



発表会場の様子

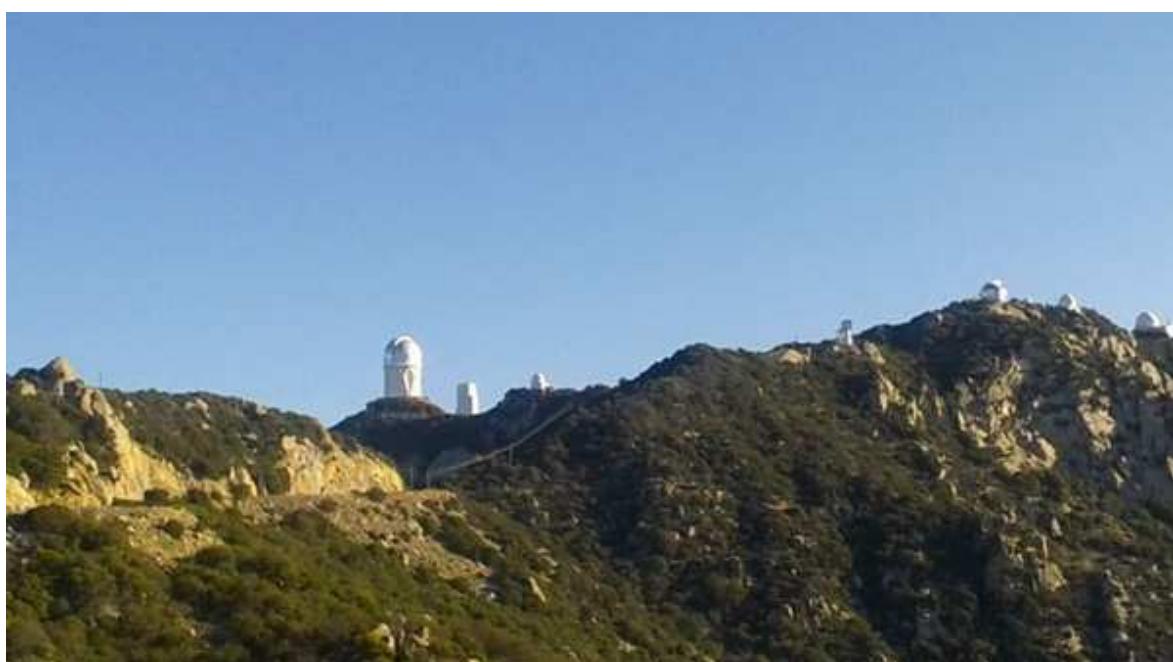
このワークショップは、アメリカにおける光学の中心地：アリゾナ州にある「ツーソン」にあるアリゾナ大学 (The University of Arizona) で毎年行われている光学関係者のワークショップである。アリゾナ大学光学研究科が中心となって開催され、内容は天文・レーザー・光学に関係したもので、各国の学者・光学に関するメーカーの関係者が集まり、研究成果や企業紹介などの発表が行われ、参加者の意見交換・技術紹介、交流を図る目的で行われている。今回、Photonics West に先立って最先端の光学技術を探り、当社のアピール（5分間の企業紹介）を行った。プレゼン終了後2～3社から問い合わせがあった。特に、光学設計ソフトウェア等について最新の情報が得られ、全体的に非常に有意義なワークショップであった。

<キットピーク天文台>

ツーソンから約90km南西のクウェインラン山頂（標高2096m）にあるキットピーク天文台を訪問しました。ツーソンは砂漠地帯にあるため、非常に乾燥した気候であるため、水蒸気が少なく光の散乱が少ないため、星の観察に適している。



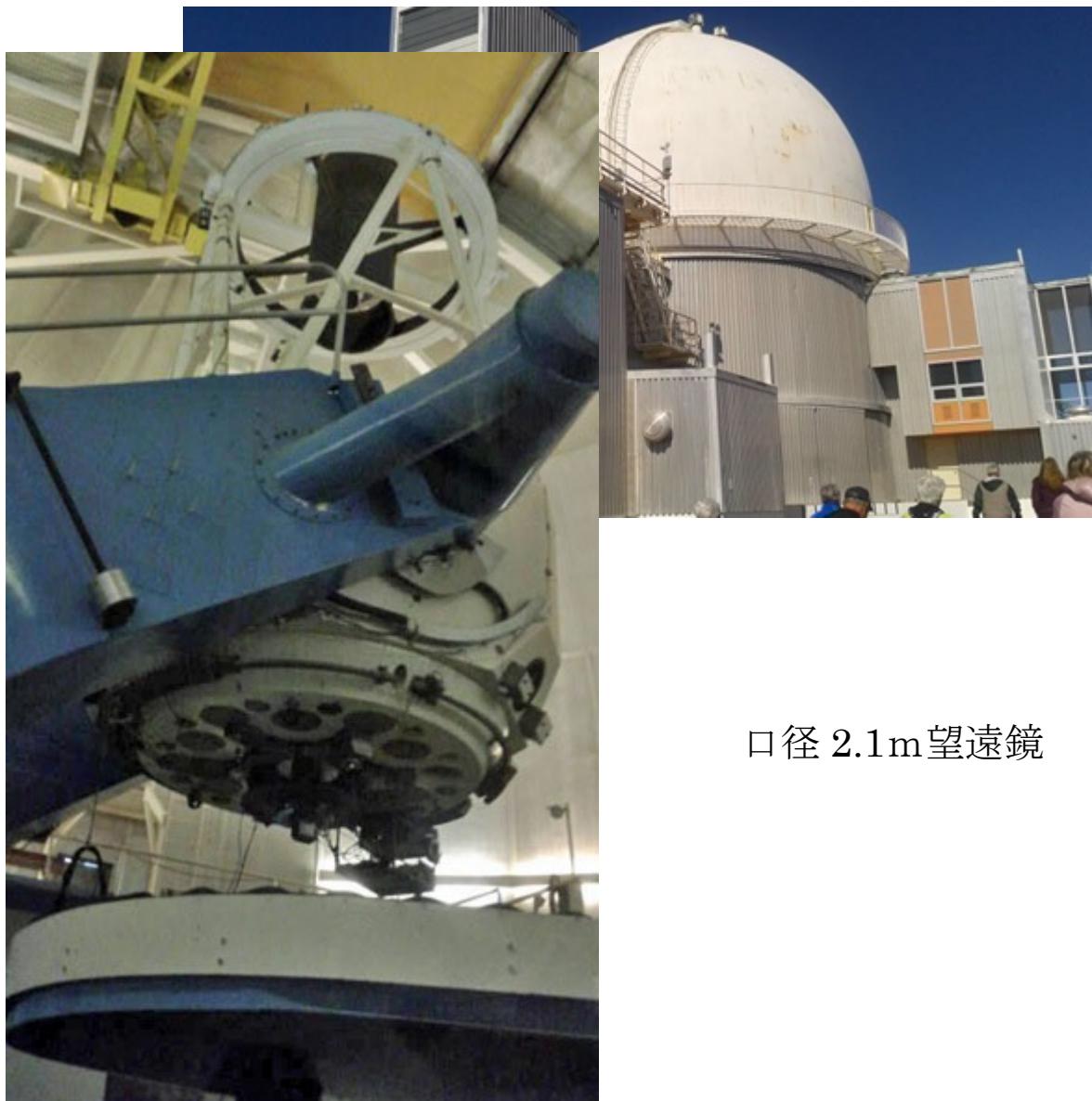
砂漠地方にあるツーソンの山の風景（サボテンが自生している）



クウェインラン山頂にある望遠鏡群。一番左側が口径4mの望遠鏡ドーム



有名なマクマスピアス太陽塔望遠鏡（世界最大の太陽塔望遠鏡＝太陽観測専用）



口径 2.1m 望遠鏡



口径 4mMayall 望遠鏡ドーム全景



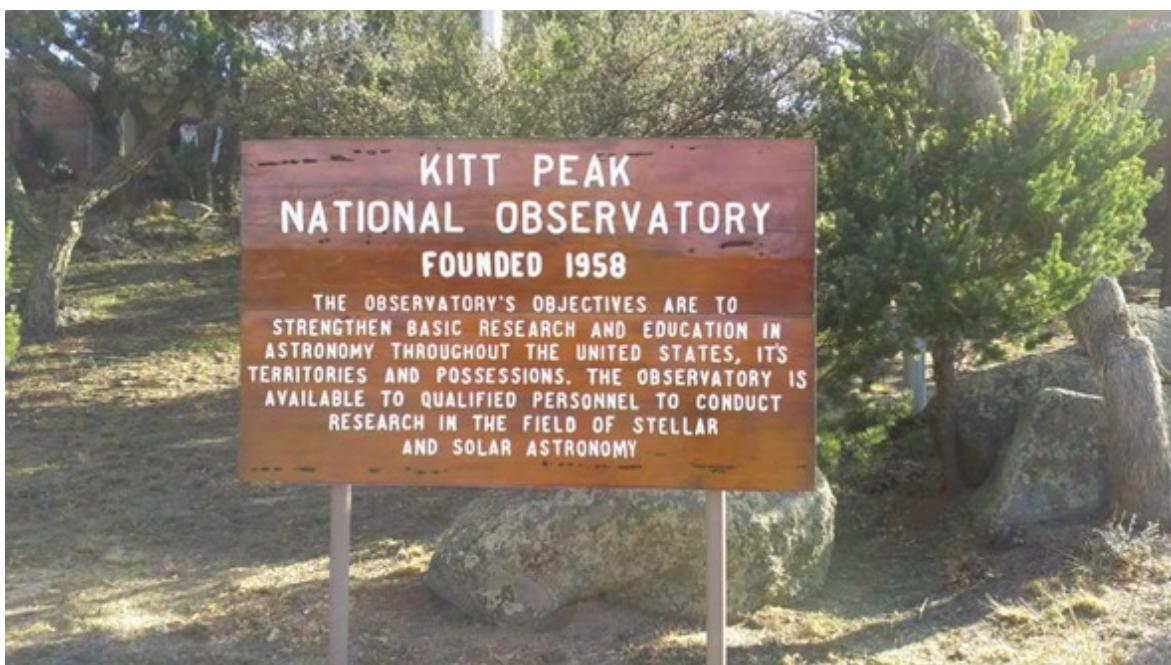
口径 4mMayall 望遠鏡ドーム（右側）



口径 4mMayall 望遠鏡本体



口径 4m Mayall 望遠鏡からの眺望（ガラス窓越しのため手が映り込んでいる）
—左側にあるのが太陽塔望遠鏡—



キットピーク天文台の案内板

<キットピーク天文台>

ツーソンから南西約 90 km のところにある。ツーソンからのキットピーク天文台ツアーもあるが、例えば 5 名以上の参加者が無いと実施されない等、必ず訪問できるかどうかわからない。今回はタクシーをチャーターして行くことができた。一方、キットピーク天文台では、年中無休で「太陽塔望遠鏡」・「2.1m 望遠鏡」・「4m Mayall 望遠鏡」の 3 つのガイドツアーが実施されている。当日でもビジターセンターへ申し込みをすれば参加できる。

また、夜間に望遠鏡による星の観望ツアーも実施されている。